

小田急多摩線 延伸計画

中等 H.S

①小田急多摩線とは

小田急多摩線は、神奈川県川崎市麻生区の新百合ヶ丘駅と東京都多摩市の唐木田駅を結ぶ、全長10.6kmの鉄道路線である。

この路線は全線複線で、途中には6つの駅がある(起点・終点を含めると8駅)。

新百合ヶ丘ー小田急永山は1974年6月1日に開業した。その後、1975年4月23日には小田急多摩センターまで、1990年3月27日には現在の終点となる唐木田まで延伸された。

新百合ヶ丘では小田急小田原線(直通もしている)、小田急永山では京王相模原線(京王永山駅)、小田急多摩センターでは京王相模原線(京王多摩センター駅)、多摩都市モノレール線(多摩センター駅)との乗り換えが出来る。

多摩線で現在運行されている優等列車は、急行、通勤急行(平日上りのみ)、快速急行(平日下り、土休日上りのみ)がある。これらの列車は、多摩線内では全て同じ停車駅で、新百合ヶ丘を出ると、栗平、小田急永山、小田急多摩センター、唐木田に停車する(図1)。また、10両の各駅停車の多くは、本線では急行になる。

途中駅には、退避・折り返し設備が無いので、途中駅での追い抜きや折り返しは行われていない(平日朝に6本だけある小田急多摩センター始発は、唐木田ー小田急多摩センターは回送で運転されている)。



図1 小田急多摩線の路線図(小田急電鉄ホームページより)

②小田急多摩線の延伸計画とは

この小田急多摩線には、延伸計画がある。現在の終点である唐木田駅から、町田市を通り、相模原駅・上溝駅へ延伸する計画である(図 2)。町田市内には、新駅が設置される予定であり、この計画が実現すれば、相模原駅で JR 横浜線、上溝駅で JR 相模線と乗り換えが出来るようになる。

また、上溝駅から、田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸も検討されている。



図 2 小田急多摩線の延伸計画(町田市ホームページより)

③延伸予定の場所を歩いてみる

実際に、多摩線の延伸予定の場所を歩いてみることにした。

唐木田ー相模原を先行整備し、上溝までの延伸はその後になる見込みのため、上溝駅は降りるだけで、相模原駅から唐木田駅までの延伸予定の場所を歩くことにした。

まず、上溝駅に降りてみる。

上溝駅は、1面1線のホーム構造となっている(写真1、写真2)。

また、朝ラッシュ時間帯でも上下それぞれ毎時4本と本数が少ない。もし多摩線が上溝まで延伸すれば、多摩線は朝ラッシュ時間帯は毎時9本の運行になる予定だ。



写真1 上溝駅のホーム



写真 2 上溝駅の 1 階(改札内) 上りと下りで同じホームが使われていることが分かる

次に、相模原駅まで移動する(写真 3)。

相模原駅は、2 面 2 線のホーム構造となっている(写真 4)。

また、相模原駅は快速も止まる主要駅で、朝ラッシュ時間帯は上り毎時 12 本、下り毎時 8 本の列車が発着している。多摩線が延伸すれば、上溝と同じく毎時 9 本の列車が発着する予定だ。



写真 3 相模原駅の 2 階(改札外)



写真 4 相模原駅の 2 階(改札内) 上溝とは違い、上りと下りで違うホームが使われていることが分かる

次に、相模原駅から唐木田駅まで、延伸予定の場所を歩いてみる。

まず相模原駅の北口を出る。相模原駅北口には、神奈川中央交通が通っていて(写真 5)、[多摩線](#)の新駅も北口に出来る予定だ(写真 6)。



写真 5 相模原駅北口に停まっている神奈川中央交通のバス



写真 6 この辺りの地下に多摩線の相模原駅が出来る予定

相模原駅北口から、南北道路を北に進んでいく。[多摩線](#)は、この南北道路の地下を通る予定だ。また、この南北道路の右側には相模総合補給廠という在日アメリカ陸軍の施設がある(写真 7)。



写真 7 相模総合補給廠

境川の手前で東京都に入り、小山郵便局や見晴らしの丘を通り、中間駅へ向かう。見晴らしの丘付近は標高が高くなっているが、**多摩線**はトンネルで地下を通る予定だ。



写真 8 見晴らしの丘付近から見た相模原駅方面

少し歩くと、中間駅の予定地に着いた(写真 9、写真 10)。中間駅付近は、標高が低くなっていて、**多摩線**は高架となる。

この中間駅付近は、今は新宿に出るためには、バスに乗り町田駅に出て、さらにそこから電車に乗る必要があるが、**多摩線**が延伸すれば 1 本で新宿に出ることが出来る。また、バスの本数は、朝ラッシュ時間帯でも毎時 3 本しか出ていないが、**多摩線**が延伸すると朝ラッシュ時間帯に毎時 6 本の列車が発着する予定だ。



写真 9 中間駅の予定地 奥の方が標高が高くなっていて、予定地付近は標高が低いことが分かる



写真 10 中間駅の予定地付近にあった横断幕、のぼり

中間駅からさらに北へ進むと、喜多見検車区唐木田出張所がある。中間駅からここまでは高架やトンネルを繰り返す予定だ。

また、喜多見検車区唐木田出張所から北に行くと、[多摩線](#)の線路とつながっている(写真 11)。

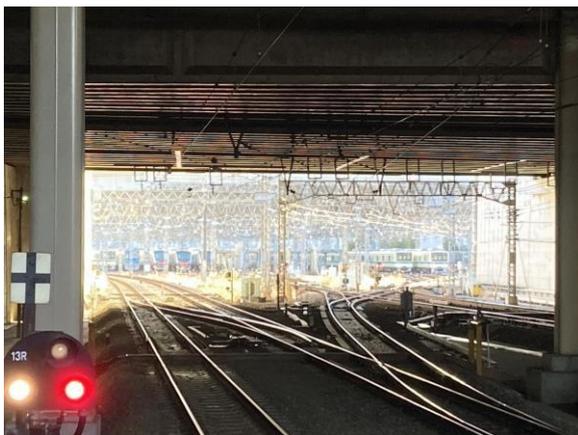


写真 11 唐木田駅から見た喜多見検車区唐木田出張所

④延伸についての考察

筆者は、[多摩線](#)の延伸はかなり効果があると思う。

理由は、新宿へ出るための所要時間が大幅に短縮されるからだ。

例えば相模原に住んでいる人は、橋本までわざわざ出る手間がなくなり時間が 10 分以上短縮され、しかも 50 円安くなる。

上溝に住んでいる人は、橋本で乗り換える手間がなくなり時間が 30 分弱短縮され、橋本と同じく 50 円安くなる。

また、一見、所要時間が短縮されなさそうな場所の所要時間も短縮される。

例えば橋本に住んでいる人は、今まで通り[京王相模原線](#)を利用すると、朝ラッシュ時間帯にメインと

なっている区間急行で新宿まで1時間以上もかかる(特急や急行はすごく少ない)(図3)。それに対し、横浜線・小田急多摩線を利用すると、乗り換え時間(およそ3分)を考慮しても50分と少しで新宿に出ることができる。料金も410円(京王)、660円(JR、小田急)とそこまで差がない。

このことから、多摩線の延伸はかなり効果があり、積極的に進めるべきだと筆者は考える。

橋本(KO45) → 新宿or新線新宿 (KO01)				料金
各駅停車	75分			¥410
区間急行	65分			¥410
急行	56分			¥410
特急	54分			¥410
京王ライナー	50分			¥820

橋本(JH28)	相模原(JH27)	+	相模原(OT09)	新宿(OH01)	料金
各駅停車	3分		急行	48分	¥660

図3 橋本→新宿(新線新宿)の所要時間、料金比較



写真12 小田急多摩線



写真13 相模原駅で多摩線と接続する予定のJR横浜線



写真 14 上溝駅で多摩線と接続する予定の JR 相模線



写真 15 現在、小山田周辺に唯一通っている公共交通機関の神奈中バス

参考文献

・路線図 | 小田急電鉄

<https://www.odakyu.jp/rail/>

・小田急多摩線延伸計画の概要/町田市ホームページ

<https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/sumai/kotsu/tetsukido/enshinkeikaku/ensin.html>

・「小田急多摩線の延伸促進に関する連絡会」の取組状況報告

https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/004/842/torikumi_jyoukyou_houkoku.pdf

・小田急多摩線延伸に関する関係者会議報告書

https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/004/842/01houkouku.pdf